

エコアクション 21 環境経営レポート 2024

対象期間:2023年12月～2024年11月

千成工業株式会社



2025年2月10日 発行
2025年2月10日 改定



目次

1. 企業理念
組織の概要
2. 認証・登録の活動範囲
3. 環境経営方針
4. 環境経営活動実地体制の構築
5. 環境経営目標
6. 次年度以降の環境経営目標と実績
7. 環境経営計画2024年
8. 次年度環境経営計画2025年
8. 環境経営計画の取組結果とその評価
9. 環境関連法規等の取りまとめ&遵守状況
10. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.企業理念

『お客様を第一に考えた、ものづくり』

弊社では、各種鋼板・鋼材(SS/SUS/AL)の薄板から厚板等による鈑金溶接作業に積極的に取り組み、溶接資格者による製作で溶接はもとより仕上り・法・仕上り外観にもお取引先様からの評価を得ています。

お取引先様からの様々な要望(特急品・試作品・現物修正等)に対してもサンプル図面、サンプル品、各種提案・製作にも迅速な対応により評価を得ています。新たな分野でのご注文に対しても総勢参加で精査を尽くし製作します。

また弊社は、事業内容として製缶・鈑金・溶接・一般機械設備等の製作を主としておりますが、新たな分野へのチャレンジや取り組みも積極的に行っております。

- ・第二回くだらないものグランプリ初参加で優勝！
- ・第三回くだらないものグランプリドバツときもかったde賞を受賞
- ・「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、達成に向け取り組みを宣言。
- ・SDGsの取組みとして「愛知県SDGs」にも登録。
- ・全国健康保険協会より「健康宣言チャレンジ事業所」に認定登録。
- ・女性の活躍促進に向け「あいち女性輝きカンパニー」に認証登録。
- ・「カーボンニュートラル宣言」

今後も様々なことにチャレンジしていきたいと考えております。



千成工業株式会社
代表取締役社長 木村彰治

組織の概要

- 事業所名及び代表者氏名

千成工業株式会社

代表取締役社長 木村彰治

- 所在地

〒485-0803

小牧市高根二丁目489番地の1

TEL(0568)65-6211 FAX(0568)65-6212

E-mail:sennari@ss.ai-link.ne.jp

- 環境管理責任者

代表取締役社長 木村彰治

E-mail:s-kimura@sennari.aichi.jp

- 取組責任者

工場長 堀貴行

- 事業内容

一般機械設備・製缶・鋁金等製作

- 事業の規模

資本金 1000万円

従業員数 14名

工場床面積 504㎡

設立 1952年3月

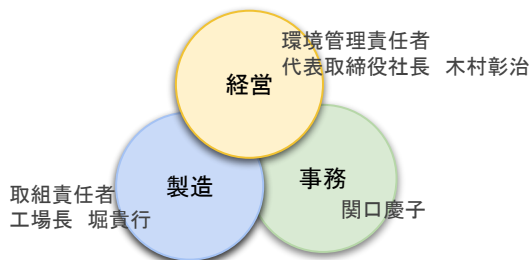
決算期 11月



2. 認証・登録の対象活動範囲

関連事業所

無し



全組織を全活動対象とする

作成日: 2025年2月10日

制定日：2009年4月14日
改定日：2024年4月1日
作成者：代表取締役社長 木村彰治

3.環境経営方針

当社は、事業活動においての地球環境に与える負荷との重要な関係を理解し、環境負荷軽減に取り組む社会的責任を基本理念とする。

I. 環境目標・活動を定め、全社員一丸となり継続的取り組みに努める。

II. 事業活動においての環境に与える影響を認識し、以下の項目に取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量の削減
2. 金属類廃棄物の削減
3. 水使用量の削減
4. 加工ミスの削減
5. 化学物質使用量の削減
6. グリーン購入の促進
7. 環境に配慮した製品の提案
8. 工場周辺の清掃活動の促進



- *【SDGs】に賛同し達成に向けた取り組みを宣言
- *【カーボンニュートラル宣言】

III. 環境に関する法規、地域との協定等を厳守し地域社会との調和に努める。

【地域活動】

- * 第1回くだグラ社歌ライブ♪
- * 会社周辺の清掃活動
- * 第2～5回くだらないものグランプリ出場

IV. 環境方針・活動レポートを全社員に周知□般にも公開する。



4.環境経営活動実施体制の構築

●代表者/環境管理責任者:代表取締役社長 木村彰治

代表者
環境管理責任者
代表取締役社長 木村彰治

●環境取組責任者:工場長 堀 貴行

- ・環境経営システムの構築の承認をする。
- ・環境方針・環境目標の決定及び見直しをする。
- ・環境活動システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金)の準備をする。
- ・該当環境関連法規等の把握と整備をする。
- ・環境経営システムに関する規定類の整備をする。
- ・環境関連教育、緊急事態を想定した訓練を計画し実施する。
- ・緊急事態発生時の統括をする。

環境取組責任者
工場長 堀 貴行

- ・環境活動計画の推進をする。
- ・環境目標・環境活動計画の立案をする。
- ・該当環境関連法規の遵守状況を確認する。
- ・教育と訓練を実施する。
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その応急措置と是正措置を報告する。
- ・監視・測定・記録管理をする。

第一製造部

第二製造部

事務
アシスタント

全従業員

- ・該当環境関連法規の遵守状況を確認する。
- ・教育と訓練を実施する。
- ・環境目標に沿って環境目標を実施する。



5.環境経営目標

《 環境目標 》

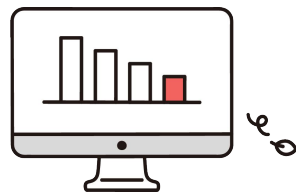
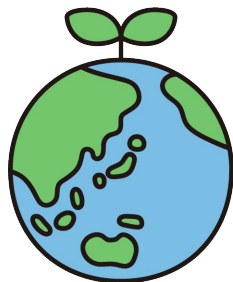


二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・リサイクル古紙は
毎年2%削減を目標としています。

水使用量は、毎年1%を削減目標としています。

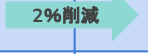
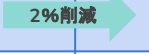
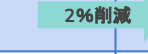
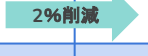
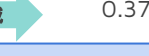
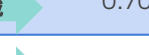
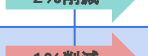
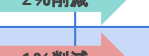
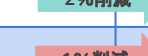
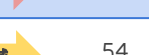
加工ミスは、毎年20件を削減目標としています。

二酸化炭素排出係数：電力 0.379(kg-CO₂/kWh)
2020年度 中部電力ミライズ(株)



環境目標		第62期目標
項目	単位	2023.12～2024.11
二酸化炭素 排出量の削減	kg- CO ₂	66,176
産業廃棄物 (金属類)	t	15.85
産業廃棄物 (廃プラスチック類)	t	0.37
一般廃棄物 (可燃物)	t	0.69
リサイクル古紙	t	0.038
水使用量の削減	m ³	139
加工ミス件数	件	67
化学物質使用量の 削減	ごく少量使用ため、適正な管理の徹底。	
グリーン購入の 促進	事務用品や原材料の購入の際、環境負荷の少ない商品を優先的に購入する。	
環境に配慮した 製品の提案	廃材を利用したB to C製品の製作。	
工場周辺の 清掃活動の促進	工場前の道路の清掃を行う。	

6. 次年度以降の環境目標と実績

環境目標		第62期実績	第63期目標	第64期目標	第65期目標
項目	単位	2023.12～2024.11	2024.12～2025.11	2025.12～2026.11	2026.12～2027.11
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	60,270 	59,065 	57,883 	56,726 
産業廃棄物（金属類）	t	15.83 	15.51 	15.20 	14.90 
産業廃棄物（廃プラスチック類）	t	0.39 	0.39 	0.38 	0.37 
一般廃棄物（可燃物）	t	0.75 	0.73 	0.72 	0.70 
リサイクル古紙	t	0.050 	0.049 	0.048 	0.047 
水使用量の削減	m ³	126 	125 	123 	122 
加工ミス件数	件	114 	94 	74 	54 
化学物質使用量の削減	ごく少量使用ため、適正な管理の徹底。				
グリーン購入の促進	事務用品や原材料の購入の際、環境負荷の少ない商品を優先的に購入する。				
環境に配慮した製品の提案	廃材を利用した B to C 製品の製作。				
工場周辺の清掃活動の促進	工場前の道路の清掃を行う。				

7. 環境経営計画 2024年

環境目標	責任部署 (スケジュール)	具体的な取組み内容
1. 二酸化炭素排出量の削減	現場／社長 事務／取組責任者 (通年)	電力の二酸化炭素排出量の削減 ・空調の温度設定管理徹底 （事務所温度を夏28度、冬22度に管理） ・スポットクーラーの風量を気温により設定 ・使用していない機械、パソコンの電源を落とす ・終業時にプレーカーを遮断し、待機電力削減 ・工場内照明器具を消費電力軽減タイプに順次変更 ・工場内の照明・エアコン等のカット ・未作業機械の電源OFFの徹底
	事務／取組責任者 (通年)	燃料の二酸化炭素排出量の削減 ・エコドライブ、アイドリングストップ ・効率的なルートで配送 ・エコドライブメンバーズクラブ入会(愛知県 環境部) ・冬季暖房ストーブの不必要時は消す ・夏季冷房機器の不必要時は消す
2. 廃棄物の削減	事務／取組責任者 (通年)	一般廃棄物の削減 ・無駄なプリントアウト防止 ・コピーの裏紙使用の徹底 ・ゴミ分別の徹底 ・マイ箸、マイボトル、マイ袋の利用 ・通い箱の有効的利用
	現場／社長 (通年)	金属類の削減 ・在庫金属材料の管理徹底 ・材料歩留まり率70% ・残材の有効利用
3. 水使用量の削減	事務／取組責任者 (通年)	・節水意識の徹底
4. 環境に配慮した製品製造	現場／社長 (通年)	・加工ミス低減 ・塗装は鉛フリーを使用するように、心がける。 ・加工ミスを減らすために、過去の事例を調査・教育する。
5. 化学物質使用量の削減	現場／社長 (通年)	・製品安全データシート(SDS)の整備
6. グリーン購入の促進	事務／取組責任者 (通年)	・グリーン商品の購入推進

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

2024年度実績

未達成項目の今後の対応

・産業排気(廃プラ、可燃物、リサイクル古紙)

社内にあった不要物を分別、処分した為、増えてしまった。
今後も徹底してしっかりと分別していきたい。

・加工ミス件数

思い込みでの作業や、打合せ不足、寸法チェックを情性で行ってしまっていた。

今後はダブルチェックを行い、形状や品質、個数や表面処理を確かめ、
流れ作業にしない。

作りやすいからではなく、図面の指示通りの物を作り、疑問に思ったら
必ず確認し、思い込みで製作しない。

寸法だけではなく、注意書きもよく読み製作していく。



環境目標		第62期目標	第62期実績	目標比	判定
項目	単位	2023.12~2024.11	2023.12~2024.11		
二酸化炭素 排出量の削減	kg-C O ₂	66,176	60,270	91%	○
産業廃棄物 (金属類)	t	15.85	15.83	99%	○
産業廃棄 (廃プラスチック)	t	0.37	0.39	105%	✕
一般廃棄物 (可燃物)	t	0.69	0.75	109%	✕
リサイクル古紙	t	0.038	0.050	132%	✕
水使用量の削減	m ³	139	126	91%	○
加工ミス件数	件	67	114	170%	✕
化学物質使用量の 削減	ごく少量使用のため、 適正な管理の徹底。		特に問題なく 管理することが出来た		○
グリーン購入の促進	事務用品や原材料の購入 の際、 環境負荷の少ない商品を 優先的に購入する。		購入の際は商品を比べ、 より環境に負荷の少ない商品を選択し、購 入した。		○
環境に配慮した製品の 提案	廃材を利用したB to C製 品の 製作。		小牧市産業フェスタ用に廃材で製品を製 作、展示を行った。		○
工場周辺の清掃活動の 促進	工場前の道路の清掃を行 う。		月1回、 工場前の道路の清掃を行った		○

9. 環境関連法規等の取りまとめ&遵守状況

環境関連法	該当する要求事項(対応するべき事項)	該当する設備・項目	担当部署	遵守評価
廃棄物処理法 (愛知県条例)	・委託基準:産廃収集運搬処理業者の許可の確認、契約 ・保管基準:60cm×60cm以上表示、飛散・浸透防止 ・衛生管理・帳簿管理・中間処理処分場の定期的な確認 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	・産業廃棄物(金属類)	製造 事務	○
騒音規制法 振動規制法(愛知県条例)	・特定施設の届出 ・地域別騒音基準の順守 ・地域別振動基準の順守	・ベンディングマシンについては、ロール式でない為届出不要 ・砥石を用いた切断機は小型で移動式の為届出不要 ・届出機器無し	製造	—
高圧ガス保安法	・容器の取り扱い・適正な容器の使用 ・事故の届出	・酸素・窒素・アルゴンガス・アセチレンガス・炭酸ガスを使用 ・保管はガス管を個別に立てかけチェーンにて固定	製造	○
火災予防条例(小牧市条例)	・防火管理 ・消火器の点検	・工場・事務所内のストーブ等 ・工場内の高圧ガス等	製造 事務	○
水質汚濁法	・貯油施設の事故時の措置と届出 ・特定施設の届出 ・排水温度の測定・記録	・電解式洗浄施設は移動式の為、届出不要製造	製造	—
フロン排出抑制法	・フロン類の適切な処理・回収・破壊の工程の確認 ・点検の実施・記録保管	・チラー・エアコン・スポットクーラー・コンプレッサードライヤ	製造	○
浄化槽法	・保守点検・法定検査・清掃	・浄化槽	製造 事務	○
PRTR法	・シンナーの適切な使用と管理	・シンナー使用量が少量である事と 従業員数が20人以下の為届出不要	製造	—
家電リサイクル法	・使用家電の管理	・家電4品目を廃棄する際は、収集運搬業に適切な引渡しと リサイクル料金の支払い	製造 事務	○
自動車 リサイクル法	・社用車の管理	・使用済自動車を廃棄する際は、 引取業者に適正に引き渡しをする	製造 事務	○
N社グリーン 調達基準	・環境マネジメントシステムの 第三者認定の取得	・エコアクション21認証登録	製造 事務	○

10.代表者による全体評価と見直しの結果

全体評価

環境活動について従業員総員参加で全体的には取組み活動を継続的に行う事が出来ている。ただし、個別に細かく見ていくと、外部環境の動きや環境活動に対しての行動や考え方が追いつかないことがあった。

そういった一人一人の小さな相違により、今回いくつかの項目で目標未達成となったと考えられる。

今後は従業員全体での取組み姿勢の共有やセミナーなどを受講し知識を増やして加工ミスを減らすことにより、廃棄物の量を削減できるので、より正確な製造に取り組む。

環境方針・環境目標・環境計画等に変更はないが、引き続き、日々の活動に対して従業員一人一人の環境活動への取組み姿勢を一致し活かし、会社全体で改善活動に取り組んでまいります。

私自身も会社経営と環境経営との関わりをより強めた経営方針にも努めてまいります。

2025年2月10日
千成工業株式会社
代表取締役社長 木村彰治

見直し結果

見直し項目	変更の必要性	変更有の場合の指示事項等
1. 環境方針	有 ・ 無	
2. 環境目標	有 ・ 無	
3. 環境活動計画と取組み項目	有 ・ 無	
4. 環境関連法規	有 ・ 無	
5. その他のシステム要素	有 ・ 無	
6. その他外部への対応等	有 ・ 無	